

- 1日 ○中国物流購買連合会、8月の製造業PMI（製造業購買部担当景気指数）を発表
指数は51.0ポイント（前月50.3）となり、景気の拡大・縮小の分岐点である50を11か月連続で上回った、51.0ポイントは16か月ぶりの水準
- 2日 ○財務省、2013年4—6月期の法人企業統計調査を発表
売上高は前年比△0.5%で5期連続の減少、経常利益は同+24.0%で6期連続の増加、設備投資は同0.0%で3期ぶりにマイナスから脱却
- 自販連、8月の軽自動車を含む国内新車販売台数を発表
36万6,754台で前年比△1.1%と4か月連続のマイナス
- 第13回産業競争力会議を開催
日本再興戦略の実行状況及び今後の進め方について議論
- 3日 ○厚生労働省、7月の毎月勤労統計を発表
現金給与総額は前年比+0.4%で2か月連続の増加
- 米供給管理協会、8月のISM（製造業）景況指数を発表
総合指数は55.7ポイント（前月55.4）となり、製造業活動の拡大・縮小の境目である50を3か月連続で上回った
- 4日 ○米商務省、7月の貿易・サービス収支を発表
391億ドルの赤字となり、赤字額は2か月ぶりに拡大
- 米Auto Data、8月の自動車販売台数を発表
季調済年率1,609万台（前月比+1.8%）と2か月ぶりに増加
- EU統計局、ユーロ圏の2013年4—6月期GDP（2次速報）を発表
実質GDP成長率は季調済前期比+0.3%と1次速報から変更なし、7四半期ぶりのプラス成長
- 5日 ○日本銀行、金融政策決定会合を開催（4日～）、以下の事項を決定
金融市場調節方針：現状維持
「マネタリーベースが、年間約60～70兆円に相当するペースで増加するよう金融市場調整を行う。」
- 欧州中央銀行（ECB）、政策理事会を開催し、以下を決定
・政策金利は0.50%に据置き
・2013年7月のフォワードガイダンスの維持を確認
- イングランド銀行（BOE）、金融政策委員会を開催し、以下を決定
・政策金利は0.50%に据置き
・資産買取りプログラムの規模を3,750億ポンドに据置き
- 6日 ○G20サントペテルブルク・サミット開催
・米国では民間需要が強まり、日本と英国では成長が強まっている。ユーロ圏では回復の兆候が見られる。新興国では成長が続いているものの、これらのうちの一部の国では成長は減速している
・我々は、強化された持続的な成長は、いずれは金融政策の正常化に向けた移行を伴うものであることを認識する。我々の中央銀行は、金融政策のあり方の将来的な変更については、引き続き注意深く測定され、明確なコミュニケーションが行われる、ということにコミットしている
・先進国において財政の持続可能性を確保しつつ、より強固で持続可能な回復を実現することは、引き続き極めて重要である。合意に沿って、全ての先進国は、信頼に足る意欲的な各国個別の中期的な財政戦略を策定した
- 日本銀行、金融経済月報（9月）を発表
我が国の景気は、「緩やかに回復している」とし、前月の「緩やかに回復しつつある」から引上げた
- 内閣府、7月の景気動向指数（速報）を発表
先行指数107.8（前月差+0.6ポイント）、一致指数106.4（前月差+0.9ポイント）とともに2か月ぶりの上昇、運行指数111.2（前月差+0.6ポイント）で3か月連続の上昇
- 米労働省、8月の雇用統計を発表
非農業部門の雇用者数は前月比169千人増と35か月連続で増加、失業率は7.3%（前月7.4%）から低下、2008年12月（7.3%）以来の水準
- 8日 ○中国海関総署、8月の貿易収支を発表
285億ドルの黒字、輸出は1,906億ドルで前年比+7.2%、輸入は1,621億ドルで前年比+7.0%
- 9日 ○内閣府、2013年4—6月期のGDP（2次速報）を発表
実質GDP成長率は季調済前期比+0.9%（年率換算+3.8%）と三四半期連続のプラス、名目GDPは同+0.9%、GDPデフレーターは前年比△0.5%と前四半期の同△1.1%からマイナス幅縮小
- 財務省、7月の国際収支状況（速報）を発表
経常収支は5,773億円、前年比△12.9%で黒字幅縮小
- 東京商工リサーチ、8月の全国企業倒産状況を発表
倒産件数は819件（前年比△15.3%）で10か月連続のマイナス、負債総額は1,662億円（同△23.2%）で2か月連続のマイナス、倒産企業の従業員数は4,409人（同△19.4%）で2か月連続のマイナス、上場企業倒産は1件
- 内閣府、8月の景気ウォッチャー調査を発表
景気の現状判断DIは前月比△1.1ポイントの51.2と5か月連続の低下、先行き判断DIは前月比△2.4ポイントの51.2と2か月ぶりの低下
- 中国国家统计局、8月の消費者物価指数を発表
総合指数は前年比+2.6%、前月（+2.7%）と比べやや鈍化

日誌

(9 月 中)

- 10日 ○日本銀行, 8月のマネーストック(速報)を発表
M2は前年比+3.7%, M3は同+3.0%, 広義流動性は同+3.5%
○中国自動車工業協会, 8月の自動車販売台数を発表
164.9万台で前年比+10.3%
- 11日 ○日本銀行, 8月の企業物価指数(速報)を発表
前年比+2.4%となり, 5か月連続のプラス
○財務省・内閣府, 2013年7—9月期の法人企業景気予測調査を発表
景気判断BSI(大企業・全産業)の現状判断は+12.0%ポイント, 2013年10—12月期見通しは+9.8%ポイント, 2013年度設備投資(全規模・全産業)は+9.1%増加見込み
- 12日 ○内閣府, 7月の機械受注統計を発表
民需(除く船舶・電力)は季調済前月比△0.0%と2か月連続の減少, 基調判断は「緩やかに持ち直している」と据置き
- 13日 ○政府, 9月の月例経済報告で景気の基調判断を「景気は緩やかに回復しつつある」として, 2カ月ぶりに上方修正
○第19回経済財政諮問会議を開催
「消費税率の引上げの判断に係る経済状況等」「2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けて」「地域経済に関する有識者懇談会」報告書について議論
○米商務省, 8月の小売売上高を発表
総合は季調済前月比+0.2%と5か月連続の増加, 変動の大きい自動車を除くベースでは同+0.1%と4か月連続で増加
- 16日 ○米FRB, 8月の鉱工業生産を発表
生産は季調済前月比+0.4%となり2か月ぶりに上昇, 設備稼働率は77.8%となり2か月ぶりに上昇
- 17日 ○米労働省・商務省, 8月の消費者物価指数を発表
総合指数は前月比+0.1%, 前年比では+1.5%の上昇, 食品とエネルギーを除いたコア指数は前月比+0.1%, 前年比では+1.8%の上昇
- 18日 ○FRB(米連邦準備制度理事会), FOMC(米連邦公開市場委員会)を開催(17日～)
・現行の金融政策の維持を決定(資産買入れペースの縮小(いわゆるQE3縮小)は見送り)
○米商務省, 8月の住宅着工件数を発表
季調済前月比+0.9%(年率89.1万件)と増加
- 19日 ○財務省, 8月の貿易統計(速報)を発表
輸出額は自動車, 有機化合物などが増加し前年比+14.7%, 輸入額は原油, 半導体等電子部品などが増加し, 同+16.0%, 貿易収支は9,603億円の赤字
○経済産業省, 7月の全産業活動指数を発表
季調済前月比+0.5%, 前年比+1.7%
○米商務省, 7月の中古住宅販売件数を発表
前月比+1.7%の年率548万件と2007年2月(同579万件)以来の6年半ぶりの高水準
- 25日 ○日本銀行, 6月の企業向けサービス価格指数を発表
前年比△0.3, 前月比+0.6%
○米商務省, 8月の耐久財受注を発表
新規受注は前月比+0.1%, 設備投資計画の先行指数とされるコア(航空機を除く)非国防資本財受注は前月比+1.5%
○米商務省, 8月の新築住宅販売件数を発表
前月比+7.9%の年率42.1万件と低水準
- 27日 ○総務省, 8月の消費者物価指数を発表
生鮮除く総合は前年比+0.8%と3か月連続のプラス
- 30日 ○経済産業省, 8月の商業販売統計を発表
小売業販売額は前年比+0.9%と3か月ぶりのプラス
○経済産業省, 8月の鉱工業指数(速報)を発表
生産は季調済前月比△0.7%, 出荷は同+0.4%, 在庫は同△0.1%
基調判断は「緩やかな持ち直しの動きがみられる」(据え置き)
○国土交通省, 8月の建築着工統計を発表
新設住宅着工戸数は, 84,343戸の前年比+8.8%と12か月連続のプラス, 季調済年率96.0万戸(前月比△1.9%)

東証株価指数(TOPIX)第1部(終値)
月間最高値 1,220.49(26日)
　　〃 最安値 1,147.82(6日)
東京外為市場(円相場, 銀行間直物, 対1ドル)
月間最高値 97.89円銭(30日)
　　〃 最安値 100.30円銭(11日)